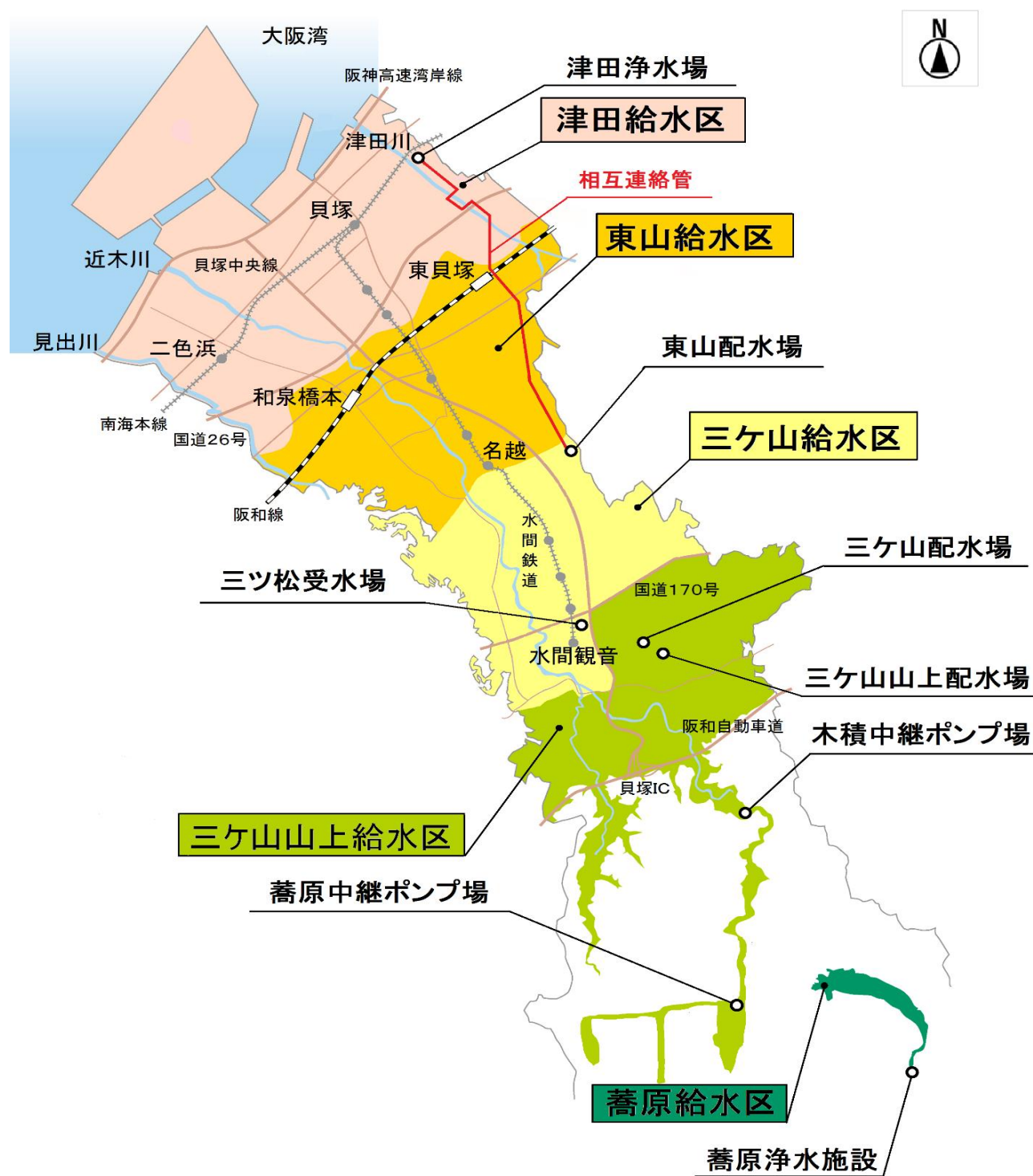


Ⅲ 施 設

1. 水道施設位置と給水区域図
2. 施設概要
3. 給水系統図
4. 施設水位高低図

1. 水道施設位置と給水区域図



2. 施設概要

(1) 津田浄水場

- ◎ 敷地面積：18,472.77㎡
- ◎ 規模：配水池2池（容量6,500㎥）
- ◎ 水源：地下水（深井戸）
- ◎ 処理能力：16,000㎥/日
- ◎ 供用開始：昭和11年4月

本市水道発祥の地である当浄水場は、津田川の伏流水と深井戸1本を水源として昭和11年(1936年)4月より給水を開始しました。現在は12本の深井戸から地下水を取水し、平成30年(2018年)3月から運用を開始した生物接触ろ過方式により浄水処理を行い、ポンプ圧送方式で津田給水区へ配水しています。また、送配水の拠点として中央監視システムにより市内水道施設の集中管理を行っています。



※「つつじの一般公開」は、更新事業のため平成23年からしばらくの間、中止しています。

(2) 東山配水場

- ◎ 敷地面積：10,054.33㎡
- ◎ 規模：配水池3池（容量12,000㎥）
- ◎ 供用開始：昭和50年4月

当配水場では、大阪広域水道企業団から受水し、東山給水区へ自然流下方式で配水しています。また、津田浄水場との連絡管で相互に送水し、自己水の有効利用と安定供給を図っています。平成13年度(2001年度)に配水池容量を7,500㎥から12,000㎥に増設しており、震災等の非常時の飲料水確保のための緊急遮断弁を設置しています。



(3) 三ツ松受水場

- ◎ 敷地面積：2,196.57㎡
- ◎ 規模：受水池2池（容量2,000㎥）
- ◎ 供用開始：平成12年4月

当受水場では、大阪広域水道企業団から受水し、三ヶ山配水場へポンプ圧送方式で送水しています。平成20年度(2008年度)に受水池容量を1,000㎥から2,000㎥に増設し、貯水能力を高めています。



(4) 三ヶ山配水場

- 敷地面積：3,957.58㎡
- 規模：配水池2池（容量6,000㎥）
- 供用開始：平成12年4月

当配水場では、三ツ松受水場から送られた水を貯水し、地形を利用して自然流下方式で三ヶ山給水区へ配水しています。また、三ヶ山山上配水場へポンプ圧送方式で送水しています。

平成15年度（2003年度）に配水池容量を3,000㎥から6,000㎥に増設しており、震災等の非常時の飲料水確保のための緊急遮断弁を設置しています。



(5) 三ヶ山山上配水場

- 敷地面積：3,932.39㎡
- 規模：配水池2池（容量1,000㎥）
- 供用開始：昭和45年5月

当配水場では、三ヶ山配水場より送られた水を貯水し、三ヶ山配水場より標高の高い三ヶ山山上給水区へ自然流下方式で配水しています。

平成19年度（2007年度）に配水池容量を550㎥から1,000㎥に増設し、当該給水区における貯水能力を高めています。

(6) 木積中継ポンプ場

- 敷地面積：172.11㎡
- 供用開始：平成18年3月

当ポンプ場では、三ヶ山山上配水場より送られた水を、さらにポンプで増圧し、三ヶ山山上給水区木積畑地区へ配水するとともに、蕎原中継ポンプ場へ送水しています。



(7) 蕎原中継ポンプ場

- 敷地面積：601.35㎡
- 規模：配水池2池（容量40㎥）
- 供用開始：平成28年4月

当ポンプ場では、木積中継ポンプ場から送られた水を、ポンプ圧送方式で三ヶ山山上給水区の大川・杵谷地区へ配水するとともに、蕎原浄水施設へ送水しています。

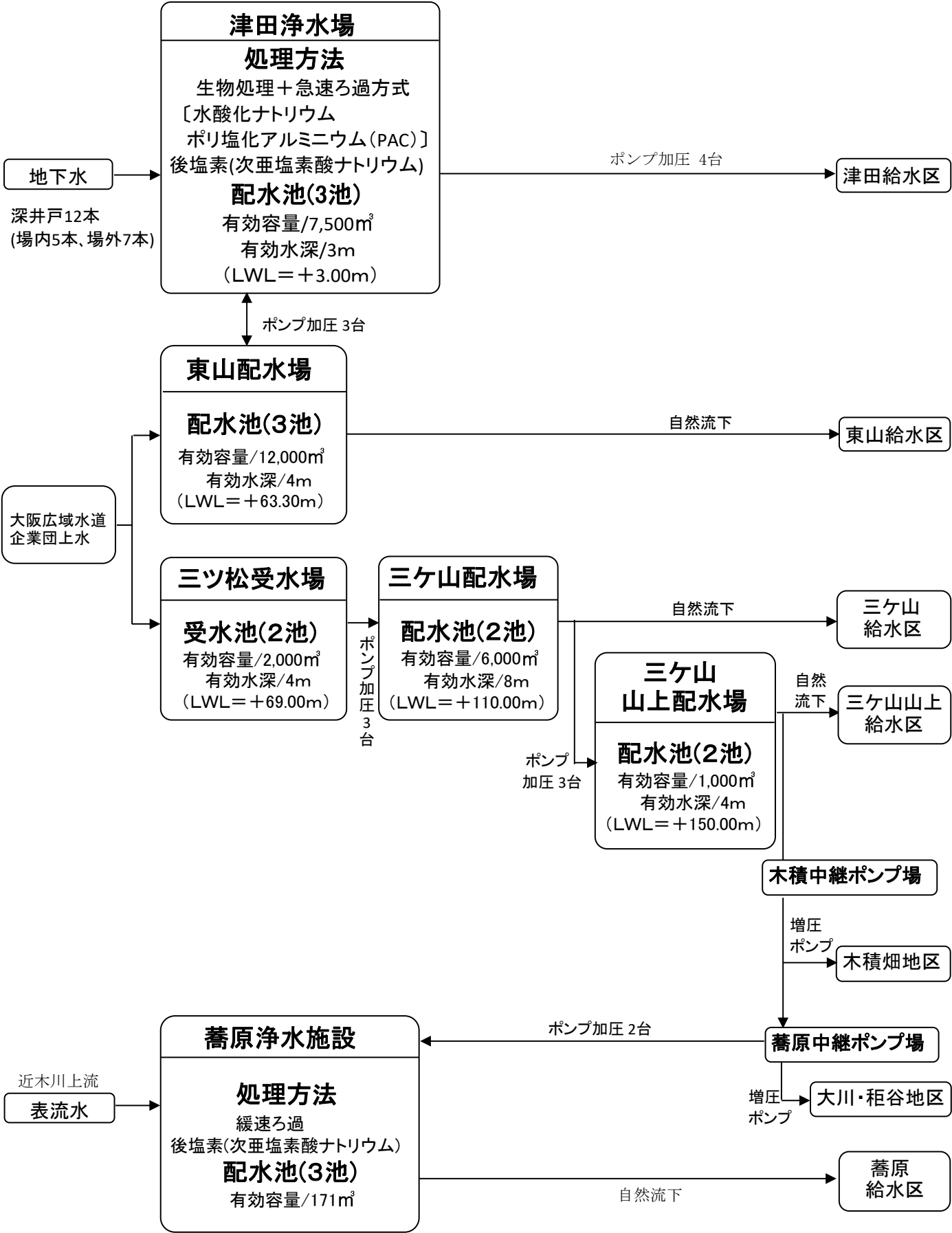
(8) 蕎原浄水施設

- 敷地面積：662.11㎡
- 規模：配水池3池（容量171㎥）
- 水源：近木川上流
- 処理能力：170㎥/日
- 供用開始：昭和35年5月

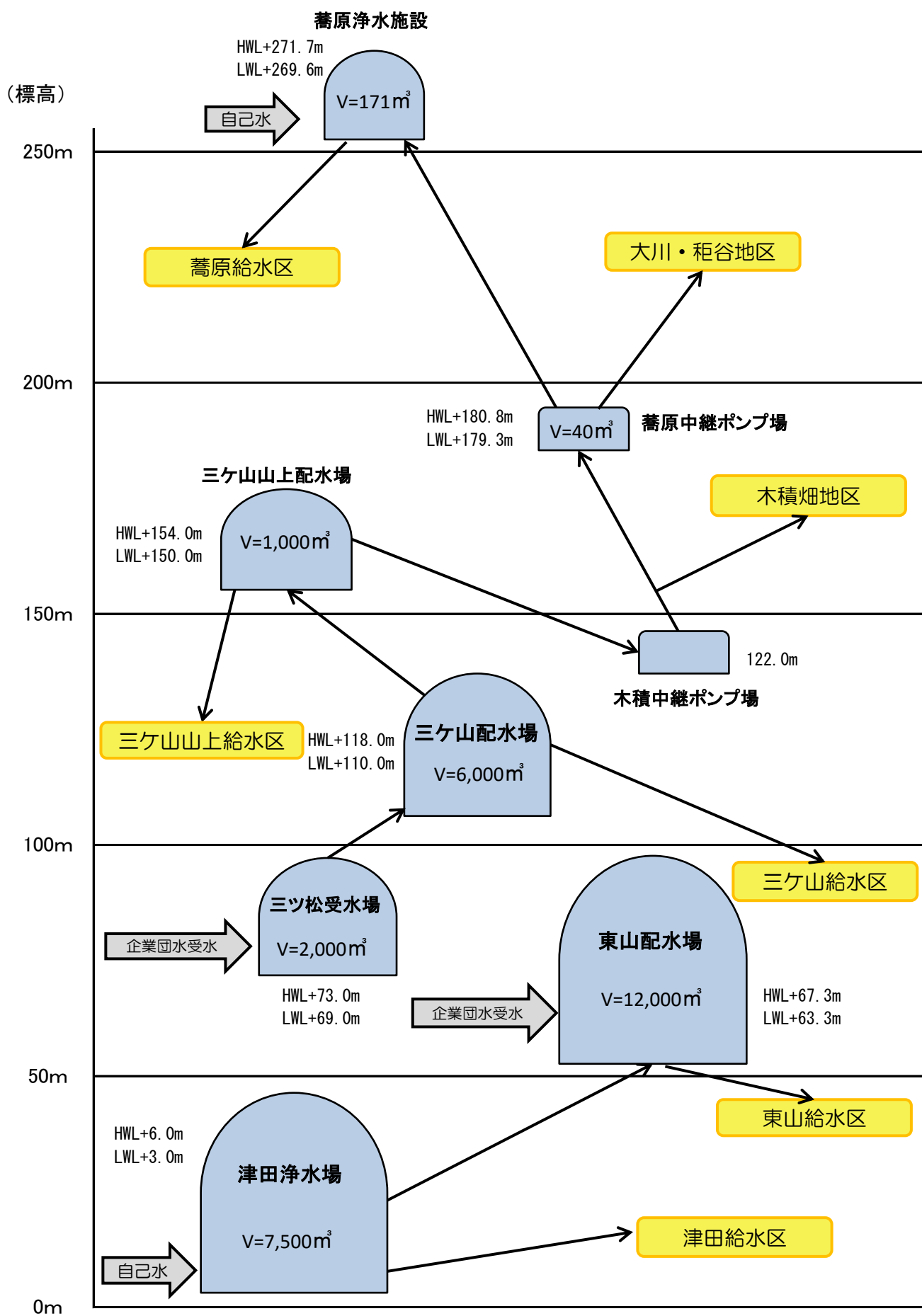
平成28年（2016年）4月から、当施設では蕎原中継ポンプ場から送られた水を、自然流下方式で蕎原給水区に配水しています。現時点では、近木川の表流水を水源とし、緩速ろ過方式により浄水処理を行う自己水も併用しています。



3. 給水系統図



4. 施設水位高低図



このページは空白です。